

お茶会だより 10月号

大島保育園 R1. 10. 28(月)

木々の葉が色付き まるまる 秋の深まりが感じられるこの頃...。
総合案内所での最後のお稽古を行いました。✕。🍁✕。🌸✕。🍁✕。

床の間

掛け軸 ~ 「かきのみ すぎき からすがかー」

お花 ~ ヒオウギ、コギク、サクラタデ 香合 ~ 柿

お菓子 ~ 干菓子 (もみじ、松葉、ハロウィン(和三盆))

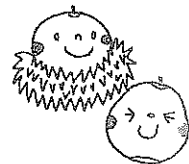
今日のお茶会では入室の時から 表情や動作も気持ちを引きしめて取り組んでいた子ども達です。龍源寺の住職さんから教わった背伸びを伸ばした姿勢を意識して 前回よりも落ち着いて 更に集中している姿が 見られました。

お菓子は、植田先生が準備した「干菓子」で、もみじ、松葉、ハロウィンの形や色鮮やかさを目にした子ども達は、「うわあかわいい!」と目を輝かせていました。そして、「かきのみ」「かきね」と茶会での味を楽しみながら「秋」を感じていました。お稽古で、作し芸や立ち振る舞いを身に付けていく事は大切ですが、本物を見たり、味わったり触れる中で 喜びを知り、よりお茶会を楽しんでいることを感じています。

残り お茶会の時間を大切に、子ども達の豊かな感性を育てていきたいと思います。

★ 次回からは 月に保育園で行います。

白インクも早目の準備 宜しくお願いします。



【今月の床の間】



《掛け軸》「かきのみ だいすき からすが かー」

《茶花》「ヒオウギ(実)・コギク・サクラタデ」

夏の花のヒオウギは実を立て、コギクの根元を小さなサクラタデが隠すひっそりとした秋の雰囲気をかもし出す茶花に、柿の実の香合と掛け軸。まさに秋の深まりを感じる床の間でした。



《香合》「柿」



《茶菓子》「干菓子：紅葉・松葉・ハロウィン(和三盆)」

【お稽古の様子】

いつもと違うお菓子だ!



どれにしようかなあ

今月のお菓子は、植田先生が用意してくださった「干菓子」。きれいなお菓子に、子ども達も目を奪われていました。



懐紙の置き方やお茶碗の持ち方など、それぞれに小さな“うっかり”はあったものの、全体的に、しっとりと落ち着いた今月のお茶会。一つ一つの動きにも、少し気持ちの余裕が見られてきました。

お茶を点ててくれて“有り難う”の気持ちを込めて...。「お点前、ちょうだいいたします」



お茶を点てる時も背筋を伸ばして...

